

あおぞら作文教室

ダウンロード資料 [教室クラス案内]

資料請求をありがとうございました。

このセットには以下の資料が入っております。

- ・あおぞら作文教室 五反野本校
- ・あおぞら作文教室 北千住クラス
- ・あおぞら作文教室 アルーク阿佐ヶ谷校
- ・あおぞら作文教室 早稲田クラス
- ・クラス案内 [五反野本校/北千住クラス/オンラインクラス]
- ・クラス案内 [阿佐ヶ谷校/早稲田クラス/成城学園前クラス]
- ・あおぞら作文教室 理念 (sakubuncafe concept) (3枚)

ご不明な点などございましたら、

LINE 公式アカウント『あおぞら作文教室』(ID: @sms5103n) からお問い合わせください。

国語を好きになる楽しい学び 自己表現力こそ人生の宝物



お子さんの書く力、ぐんっと伸ばしてみませんか？

遊び Play

最近楽しいって思うことしてますか？

+ 学び Learn

遊びの中に学びがある

= 夢の実現

書く力で実現力を高める！

Dream

あおぞら作文教室の
大人気スタンダード

お子様の書く力、考える力を伸ばすためのカリキュラムに特化した、あおぞら作文教室のメインクラス。2年生～6年生が学年区別なく一緒に学びます。お子さんの個性に合わせた指導で、子ども時代に必要な言葉や情緒、作文の基礎を学びます。200字程度の意見作文を楽しく書けるようにするクラスです。

あおぞら
クラス

90分/月2回

あおぞらクラスの
STEP UP!

あおぞらクラスを通年でやってくださったお子様や、高学年のお子様の書く力、考える力をさらに高め、討論と思考力育成を取り入れたあおぞらクラスのステップアップコース。読解問題に10分程度時間を使い、作文を書くことや思考を深める学習をしていきます。4年生以上が適しています。400字程度の意見作文を書けるように指導します。

思考力
クラス

90分/月2回

早稲田
クラス

アルーク
阿佐ヶ谷校

五反野
本校

北千住
クラス

成城学園前
クラス

未就学児～小1対象

にじいろ
個別指導

60分/月2回

あおぞら作文教室のプレスクールににじいろ。学ぶことは楽しいというイメージから、お子様の好奇心を伸ばします！

小2～社会人対象

個別指導

90分/月1回～

個々の特性に合わせた指導を行います。論文や内部進学のための作文、受験のための読解指導など。講師1人につき2名程度で対応します。
◎意見の作り方・切り口を決める
◎対比の構図
◎集団討論指導・面接指導など

適性検査
対策クラス
作文要約
クラス

1回90分

月2回
コース

月4回
コース

適性検査対策クラス

朝日新聞社「今解き教室」をテキストにして旬の時事問題や、読解問題をやる高学年向けのクラス。公立中高一貫校の受験対策としても効果的です。講師が丁寧に面白く時事問題を解説します。

作文要約クラス

要旨をつかむ力と考える力、書く力をさらに高め、学校では学べない知恵を体得していきます。要約と400字の作文をしっかり書ける論述力を作ります。

LINE公式アカウント



あおぞら作文教室 五反野本校

足立区西綾瀬2-23-33-1 TEL: 080-1172-8883

MAIL: info@sakibuncafe.com

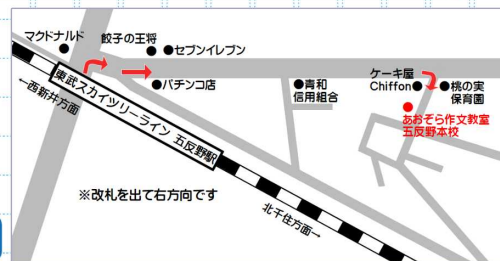
LINE: @sms5103n

体験のお申し込み・ご質問は、ホームページの問い合わせフォームから

<https://sakibuncafe.com>

あおぞら作文教室

検索



未来につながる力が身につく

発想力

書く力

考える力

伝える力

集中力

向上心

北千住駅東口徒歩1分

北千住クラス

あおぞら作文教室

書くことに特化した教室「あおぞら作文教室」は、お子さまの思考力・判断力・表現力を育みます。様々な楽しい!と感じるコンテンツで、苦手なお子さまも、書くことが大好きなお子さまも、どちらも夢中にさせていきます!

無料体験受付中

お申込み・お問合せは
公式LINEから



LINE公式アカウント
@sms5103n

満室クラスも出てきました!
お早めにお問合せください

開講スケジュール

クラス	対象	開講日	時間
あおぞら クラス	小2~	第1.3火曜	16:30~18:00 (90分)
		第1.3木曜	
思考力 クラス	おおむね 小4~	第2.4火曜	16:30~18:00 (90分)
		第2.4木曜	
個別指導X 1対2 (作文・200字程度)	毎週火曜 or 第2.4週 木曜		18:00~19:30 (90分)
個別指導Y 1対2 (国語読解・適性検査・中学受験)			
個別指導Z 1対2 (都立高校推薦・高校受験)			
1オン1個別指導 (大学総合入試・志望動機作成等 応相談)			



<https://sakubuncafe.com>



国語を好きになる楽しい学び 自己表現力こそ人生の宝物



お子さんの書く力、ぐんっと伸ばしてみませんか？

遊び Play

最近楽しいって思うことしてますか？

+ 学び Learn

遊びの中に学びがある

= 夢の実現

書く力で実現力を高める！

Dream

あおぞら作文教室の 大人気スタンダード

お子様の書く力、考える力を伸ばすためのカリキュラムに特化した、あおぞら作文教室のメインクラス。2年生～6年生が学年区別なく一緒に学びます。お子さんの個性に合わせた指導で、子ども時代に必要な言葉や情緒、作文の基礎を学びます。200字程度の意見作文を楽しく書けるようにするクラスです。

あおぞら
クラス
90分/月2回

あおぞらクラスの STEP UP!

あおぞらクラスを通年でやってくださったお子様や、高学年のお子様の書く力、考える力をさらに高め、討論と思考力育成を取り入れたあおぞらクラスのステップアップコース。読解問題に10分程度時間を使い、作文を書くことや思考を深める学習をしていきます。4年生以上が適しています。400字程度の意見作文を書けるように指導します。

思考力
クラス
90分/月2回

早稲田
クラス

五反野
本校

北千住
クラス

アルーク
阿佐ヶ谷校

成城学園前
クラス

適性検査
対策クラス

90分/月2回

小2～社会人対象

個別指導

90分/月1回～

個々の特性に合わせた指導を行います。論文や内部進学のための作文、受験のための読解指導など。講師1人につき2～4名程度で対応します。
◎意見の作り方・切り口を決める
◎対比の構図
◎集団討論指導・面接指導など

朝日新聞社「今解き教室」をテキストにして旬の時事問題や、読解問題をやる高学年向けのクラス。公立中高一貫校の受験対策としても効果的です。講師が丁寧に面白く時事問題を解説します。

LINE 公式アカウント



お問い合わせ
体験申込は
こちらから



あおぞら作文教室 アルーク阿佐ヶ谷校

(JR阿佐ヶ谷駅 徒歩4分/JR高円寺駅 徒歩12分)

杉並区阿佐ヶ谷南2丁目40-1 al:ku阿佐ヶ谷

TEL : 050-1809-1304

MAIL: info@sakubuncafe.com

LINE: @sms5103n



あおぞら作文教室 公式サイト
<https://sakubuncafe.com>

国語を好きになる楽しい学び 自己表現力こそ人生の宝物



お子さんの書く力、ぐんっと伸ばしてみませんか？

遊び Play

+ 学び Learn

= 夢の実現

Dream

最近楽しいって思うことしてますか？

遊びの中に学びがある

書く力で実現力を高める！

あおぞら作文教室の 大人気スタンダード

お子様の書く力、考える力を伸ばすためのカリキュラムに特化した、あおぞら作文教室のメインクラス。2年生～6年生が学年区別なく一緒に学びます。

お子さんの個性に合わせた指導で、子ども時代に必要な言葉や情緒、作文の基礎を学びます。

200字程度の意見作文を楽しく書けるようにするクラスです。

あおぞら クラス

90分/月2回

あおぞらクラスの STEP UP!

あおぞらクラスを通年でやってくださったお子様や、高学年のお子様の書く力、考える力をさらに高め、討論と思考力育成を取り入れたあおぞらクラスのステップアップコース。

読解問題に10分程度時間を使い、作文を書くことや思考を深める学習をしていきます。

4年生以上が適しています。

400字程度の意見作文を書けるように指導します。

思考力 クラス

90分/月2回

阿佐ヶ谷
クラス

早稲田
クラス

成城学園前
クラス

北千住
クラス

五反野
本校

A 学校で出される宿題の作文、読書感想文などの課題から論文まで、経験豊富なあおぞら作文教室の指導員が、作文3か条などのライティング技術をお伝えます。

B 公立中高一貫校適性検査対策や私立中学・高校受験対策の読解、推薦入試、志望動機書など。作文指導はもちろん、資料読み取りのコツ、読解問題の記述力の強化など、さまざまなご希望に沿った指導ができます。添削指導ではなく、書き方を教える指導と考え方を伝える指導で定評のある指導体制を整えております。合格実績は多数。お問い合わせください。

個別指導

90分/月2回



LINE公式アカウント



あおぞら作文教室 早稲田クラス

(山手線 高田馬場駅 徒歩10分/東西線 早稲田駅 徒歩8分
/地下鉄副都心線 西早稲田駅 徒歩5分)

新宿区西早稲田3-14-2 早稲田通りビル102 ワセダ食堂内

TEL : 080-1172-8883

MAIL : info@sakubuncafe.com

LINE : @sms5103n

体験のお申し込み・ご質問は、
下記HPの問い合わせフォームから
<http://sakubuncafe.com>

あおぞら作文教室

検索

あおぞら作文教室 クラス案内〔五反野本校・北千住〕

あおぞらクラス 対象：小2～小5

クラス名	曜日	時間	教室	備考	講師
あおぞら火曜	第1,3火曜	16:30-18:00	五反野本校		村田
あおぞら水曜	第1,3水曜	16:30-18:00			村田
あおぞら土曜1 A	第1,3土曜	15:00-16:30			指導員
あおぞら土曜1 C	第1,3土曜	16:30-18:00			眞野
あおぞら土曜2 D	第2,4土曜	13:00-14:30			徳永
北千住あおぞら火曜	第1,3火曜	16:30-18:00	北千住	2026年度開講予定	指導員
北千住あおぞら木曜	第1,3木曜	16:30-18:00			

思考力クラス 対象：小4～小6

クラス名	曜日	時間	教室	備考	講師
思考力水曜	第1,3水曜	16:30-18:00	五反野本校		村田
思考力木曜	第2,4木曜	16:30-18:00			村田
思考力土曜A	第1,3土曜	13:00-14:30			眞野
思考力土曜B	第2,4土曜	16:30-18:00			眞野
北千住思考力火曜	第2,4火曜	16:30-18:00	北千住		指導員
北千住思考力木曜	第2,4木曜	16:30-18:00			

適性検査対策/作文要約クラス [月2回/4回] 対象：小4～中学生

クラス名	曜日	時間	教室	備考	講師
適性検査対策土曜	第1,3土曜	14:30-16:00	五反野本校		眞野

個別指導(90分)

クラス名	時間	月	火	2,4水	1,3木	金	1,3土	2,4土	備考
個別X (作文指導)	9:30-11:00*1						*1	*1	第5週目は閉室日です *1 11月～2月のみ *2 8月～2月のみ
	11:00-12:30						眞野	木下	
個別Y (受検・受験)	15:00-16:30*2						*2	*2	
個別Z (AO・一般)	16:30-18:00	眞野			木下	遠矢			
	19:00-20:30	眞野		眞野		遠矢	木/眞野	眞野	
北千住個別指導	18:00-19:30	第1-4火曜・木曜 (指導員)							

あおぞらプレクラス(新小1向け)

クラス名	曜日	時間	教室	備考	講師
あおぞらプレクラス	月2回・土曜	午前	五反野本校	対象学年小1・応相談	村田

アカデミークラス・自習室 対象：中学生、高校生、大学生

クラス名	曜日	時間	教室	備考
アカデミークラス	火水土	19:00-21:00	五反野本校	自習室はアカデミー生以外の小学生高学年も利用可 (別料金)
アカデミー自習室	月火水金土	16:00-20:30		

オンラインクラス Zoom使用オンラインクラス

クラス名	曜日	時間	教室	備考	講師
オンラインあおぞら月曜	月3回・月曜	18:30-19:30	オンライン (Zoom指導)	詳細はお問い合わせ下さい	村田
オンラインあおぞら水曜	月3回・水曜	18:30-19:30			村田
オンライン個別指導	応相談				指導員

上記の他に、**阿佐ヶ谷** **早稲田** **成城学園前** でも、

あおぞらクラス、思考力クラス、適性検査対策クラス、個別指導等を行っています。

詳しくはホームページをご覧ください。

あおぞら作文教室 クラス案内

〔阿佐ヶ谷/早稲田/成城学園前クラス〕

アルーク阿佐ヶ谷校

杉並区阿佐谷南 2-40-1 アルーク阿佐ヶ谷
(JR 阿佐ヶ谷駅 徒歩 4 分 JR 高円寺駅 徒歩 12 分)

クラス名	開講日	時間	備考	講師
あおぞら月曜	第1,3月曜	16:30-18:00		高橋
あおぞら水曜	第1,3水曜	16:30-18:00		高橋
あおぞら木曜	第1,3木曜	16:30-18:00		指導員
あおぞら金曜	第1,3金曜	16:30-18:00		高橋
あおぞら土曜	第2,4土曜	13:30-15:00		指導員
思考力月曜	第2,4月曜	16:30-18:00		高橋
思考力水曜	第2,4水曜	16:30-18:00		高橋
思考力木曜	第2,4木曜	16:30-18:00		指導員
適性検査対策木曜	第2,4木曜	16:30-18:00		指導員
適性検査対策金曜	第1,3金曜	18:00-19:30		高橋
個別指導	第1-4月水	18:00-19:30		指導員
	第2,4土曜	12:00-13:30		

※アルーク阿佐ヶ谷校の個別指導は随時、日程や担当講師のご相談を受け付けております。

早稲田クラス

新宿区西早稲田 3-14-2 早稲田通りビル 102 ワセダ食堂
(高田馬場駅 徒歩 10 分 / 早稲田駅 徒歩 8 分 / 西早稲田駅 徒歩 5 分)

クラス名	開講日	時間	備考	講師
あおぞら土曜A	第1,3土曜	13:30-15:00		高橋
あおぞら土曜B	第1,3土曜	17:00-18:30		高橋
あおぞら土曜C	第2,4土曜	13:30-15:00		高橋
思考力土曜	第1,3土曜	15:15-16:45		高橋
適性検査対策土曜	第2,4土曜	15:00-16:30		高橋
にじいろ個別指導	第2,4土曜	18:00-19:00		高橋
個別指導	第1-4土曜	11:00-12:30		高橋
	第2,4土曜	16:30-18:00		

成城学園前クラス

世田谷区成城 2-40-7 TOP 成城学園 206 号室
(小田急線 成城学園前駅 西口より徒歩 1 分)

クラス名	開講日	時間	備考	講師
あおぞら金曜	第1,3金曜	16:30-18:00		眞野
思考力金曜	第2,4金曜	16:30-18:00		眞野
適性検査対策	第2,4金曜	16:30-18:00		眞野
個別指導	第1-4金曜	18:00-19:30		眞野

五反野本校 北千住クラス

五反野本校および北千住クラスでも、あおぞらクラス、思考力クラス、適性検査対策クラス、個別指導等を行っています。

授業内容など詳細については
右のQRコードより
ホームページをご覧ください



学習にとって大切なこと、私たちがしていくこと。

sakubuncafe concept



いろいろな個性を持った人たちが、
本気で楽しんで、遊び、学ぶ。
そんな場所を作りたい。

あおぞら作文教室が、お子さまの書く力を伸ばすために一番必要だと思っているのは、「子どもが自分自身の考えに、自信を持つこと」。

それは自己肯定感を高め、自己実現の道を拓くのです。

そもそも学習とはなんでしょうか。学習の第一義は、子どもが目標を持ち、「自分の力で」勉強していく力を身につけること。

『教育の目的は、各人が自己の教育を継続できるようにすることにある』

デューイの教育理論より

そのために、私たちに何ができるだろうか。いつもそう考えています。

1. 本当の「学び」は「遊び」の中にある。

私は、本来、子どもが自分から自宅学習や塾の宿題を進んでやるという事は無理だと考えています。

理由は、こうです。子どもにとって、本来の「学び」は「遊び」のことだからです。かつての遊びの中ではいろいろなトラブルが起きる仕組みになっていました。そのトラブルを解決しながら遊ぶこと、これこそ本当の学びだったはず。例えば足の速い子と遅い子が一緒に缶けりをやって楽しむにはグループ分けをどうするか、1年生と4年生で一緒にはさみ将棋を楽しむにはどんなハンデをつければいいのか、など、集団で、多学年で、遊ぶためにいろいろな事柄に対応し解決していき、問題解決力が身につけていきました。そんな中からリーダーの資質も身につけ、役割分担もできたはず。でも、現代社会にはそれがありません。大人がけがや事故（子どもたち同士の衝突も含めて）を恐れるあまり、いろいろな場所や場面に様々なルールを設け、きちんと「安全に」整備してしまったからです。今や公園でキャッチボールもできません。そしてゲーム機が子どもの遊びのド真ん中です。結果、たぶん悲しい子どもの事故は減ったはず。世の中は安全になったはず。でも、よくなったことばかりでしょうか……。失ったものもあるのではないのでしょうか。私は、子どもたちとの関わりの中で、こう考えています。

失ったもの① 子どもが自分たちで考える力

失ったもの② 子どもの体力

失ったもの③ 子どもの書く力

子どもが悪いのでしょうか？親が悪いのでしょうか？

いいえ、大人たちが、良かれと思って決めたルールや現代社会がそうさせているのです。

子どもは、学校や塾で何時間も勉強しています。習い事もたくさんしています。でも、本来あったはずの能力が失われつつある……。

介助員や塾講師をしていたときに、よく思ったのですが、正直多くの授業は決められたことをやるだけ。ご自身に置き換えてみましょう。一日誰かに与えられた仕事をして帰宅するや否や、「また仕事だよ。はい、このドリル」と何かを与えられたらどんな気持ちになるでしょう……。創作意欲や考える力が湧きますか？ 私は、そのことに気づいたので、誠心誠意お子さんの手助けをします。まるで遊んでいるかのように、書き方を教えたいと思っています。本来は学ぶことは楽しいこと。時には甘やかしに見えるかもしれませんが。遊ばせているだけに見えるかもしれません。実際にはお子様をかなりの部分フォローしているのですが、プロとして、お子様が「自分で書けた！おもしろかった！」と思うように勉強させます。答えの部分、お子様が自分で見つけるヒントを出し続け、徹底的に達成感を身につけます。わからないのは当然です。だって、そのために指導者がいるのですから。だって、彼らは、今まさに学んでいる途中なのです。しかも、ここに入ってきたのが、学校におけるICT教育。タブレットやパ

ソコンを学内でも使用し、手書きで書く時間は半減しました。圧倒的に、国語を習得する時間が失われたのです。これは日本語文化の危機といっても過言ではありません。だからこそ、お子様たちに「書くって、楽しい！」という感覚を遊びを通して身につけて欲しいと考えています。

2. 褒める。安心させると自然に伸びていく。

自己肯定感を養うために本気で、そのお子様の強みを見つけます。

そして、お子様を国語好き・作文好きにするためにやっていることは、どこが嫌いでどこが好きなのか「一緒に考えていくこと」。

たとえば「漢字が嫌い」というお子さんの場合。

漢字テストが出来ないから嫌いなのか、覚えられないから嫌いなのか、書くことが面倒だから嫌いなのか。タイプに合わせて教えていきます。書くことが単に面倒なだけのお子さんには・・・たとえば宿題は10個書くことだとしても、「3個でいい。●●君は頭がいいから大丈夫。でも、その代わり3回はきれいにしっかり書くこと！」

作文指導でも、同じことをそれぞれのお子様に合わせてしています。特に苦手意識のない場合は、どこを伸ばせるか見極めていき、「●●さんは、想像力があるから例文がスラスラできるね。普通の3年生よりかなり書くのが速いよ。」などと正直にほめます。とにかくほめます。

今の学校教育の現場は、「公平・公正・平等」ばかりに気を取られ、または鼻屑と受け取られるのが怖いのか、お子さんを個別に評価しません。よって、お子さんは「あなたはそこがあまりよくできていない」と言われ代わり「そう、そう、それでいいのよ。あなたはそこが優れている」とも言われていないのです。それぞれのお子様に、必ず褒めたくなる点があります！

あおぞらの講師は、それを見つけて誇張して褒めていくのです。そのことで、子どもは「私はこういうことが得意なんだ」と意識することができ、自信を持って力を発揮できるようになるのです。

3. 必ず、遊びを取り入れます。

1でも述べましたが、私は、子どもとは本来「遊びが好き」だと考えています。むしろ、遊びこそが子どもの「本質」。子どもは、どんなときでも遊びを通して思考力や空間認知、五感の発達をしていくことをいつも現場で実感します。ですから、授業の時間の中でも、必ず遊びの要素を何箇所かに入れます。なぞなぞ、しりとり、ダジャレなど遊びの要素を取り入れることが多いです。時には動画を見せたり、折り紙、体をほぐす動きなどをやる時もあります。国語の読解問題に関しても、子ども達に「さて、ここでクイズです」というような遊びの気持ちで取り組んでほしい、と考えています。お子様の脳というのは「楽しい！」と思った時にだけ吸収するスポンジのようなものです。その気持ちを私は、とても大切にしています。

4. 言葉あそび・短作文・初見音読、そして競争と限定

遊んでいるだけになってしまわないかしら？ と、ご心配かもしれません。教室を見に来ていただくとうわかるのですが、子どもたちは、むしろ遊びをうまく取り入れることで、まるで遊んでいるように作文の技術を習得していきます。言葉遊びや間違いさがしのなかでは、作文を書くときに必要な言葉の引き出しをどんどん増やしていきます。会話の中で、語彙の使い方を学んでいきます。ただ遊んでいるのでは授業とは言えません。コツとして、遊びの中に、私たちは必ず「競争」と「限定」の要素を入れています。ただし、あまり結果をおおる形にはしませんし、私たち自身は結果にはこだわりません。でも、子どもたちは張り切ってやってくれます。

実は一番結果が気になっているのは、お子様たちなのです。

例えば、初見音読の場合、私のやることは「タイマーで秒数を計る」のと「間違えた箇所をチェックする」だけです。この2点を強調することだけで、お子さんは俄然やる気になってくれます。つまりゲーム性が出て楽しくなるのです。楽しいと感じているから、音読もうまくなりますし、内容も吸収してくれます。ただ数人の子どもたちが集まるだけで、学年も性別も能力も違っていても、うまくハンデをつけながら、一緒に競い合うことができるのです。

5. 嫌いにさせない。

国語に苦手意識を持っている子どものうちの、半数以上は、本質的な国語能力ではないところで「なんとなく嫌い」と思っています。漢字・無意味に書かされる作文・塾の難しすぎる読解問題・繰り返すだけの音読etc。いまの教育環境には、お子さんが国語嫌いになるに十分なカリキュラムがたくさんあります。現状は、国語能力以前の基礎作りの部分で国語が嫌いになってしまうお子さんがとても多いです。もったいない！

嫌いにさせないために、まずは褒めて、得意意識を持たせます。「すごい、ヒント出せばわかるじゃない!」「大丈夫、すごくいい感じにできているよ」「これからどんどん国語が得意になってくるよ!」こんな声かけをよく、します。

6. 書くことの意味と、一人一人の子どもたちの未来と真剣に向き合う。

今、書く能力が、どうして重要視されているのでしょうか。確かにこの15年間でお子さんの書く力は低下したといわれています。でも、それは今という社会の中で、ごく自然に子どもは文章を読まなくなり書かなくなったのですから、現代に必要なということなのかもしれません。考え方を変えれば、それは世の中の流れに合致したある意味では進化なのですから、逆らわず、そのままにしておけばいいとも思うのですが、教育関係者の多くは直感的に「このままではいけない」と思っているようです。

なぜでしょうか。私は、人が書けなくなることを恐れるのは、書くことが食や睡眠と同じく「人間の本能」に限りなく近いところにあるからだと思っています。人は一人では生きていけません。他者と自分の考えを共有しあってこそ、「生きる」価値を感じるのではないのでしょうか。書くことは、考えたことを共有するための大切な手段の一つです。ですから、**書くことがうまい人=多くの人から共感を得ることができる人**、として能力が高いとみなされるのです。これを踏まえて、お子さんにはこう伝えています。

- ① 心から書きたいと思ったことは絶対に本能で書けるから、まずは、書きたいことを見つける。
- ② どんな出来事に対しても、自分の考えを持つクセをつける
- ③ 書くことは、人に自分の考えを伝えること。おろそかにしてはいけません。

それでも、書けない子、やるのが嫌なお子様には、どうして文章を書くことが必要なのか。どうして今、ここで作文を習うのかをはっきり説明しています。理由は、いやいやながらやってもお子さんの頭も心も閉じたままで時間の無駄になってしまうからです。いわゆる「勉強」はお子さんにとって楽しいものではありません。その気持ちを分かった上で、もし保護者の方のご意向で当教室に通っていただく場合、「お母さんは、●●君のこと、とっても頑張っているって褒めていたよ」「きちんと結果を出して安心させてあげようね」などとお子さんにお伝えします。「それって、国語の成績や作文の指導になにか関係があるの?」と思われるかもしれません。日々、宿題や課題、習い事で結果を出すことに追われるお子さんの気持ちを考えると、意外とその部分は見落とせないのです。また、指導者という立場の私たちが「大丈夫。書けるようになる」と言い切り、書けるようになることの大切さを伝えることは重要です。加えて、確実にご家族が応援してくれるということを理解することで、やる気や学習意欲が上がります。

7. 生成AI時代がやってきてより重要になったこと。

「AIでやればいいじゃん」

ある生徒の発言です。生成AIは、恐るべき発展を遂げ、私たち人間の叡智を超えました。生成AIを使えば、誰でも美しい文章、伝わる文章が作れます。そこで冒頭の小6男子の言葉になるのですが、果たしてAIにお任せするだけでいいのでしょうか。確かに、頼めるところはAIに頼むことで、私たちの仕事や生活は便利になります。でも、AIに「生かされる」ようになりたいわけではありません。人が、人であることの証として、むしろ「手書き」による文章作成の能力は、ますます重要な意味を持つようになるのではないのでしょうか。それは、書く力の正体は考える力であり、それが生きる力を養い、表現する鍛錬になるからです。何を書くか、何のために書くか、どう伝えるか、自分で考える。それを表現できるようにする。この源は、幼少期にしか創ることができない、と私は考えています。大人になってからでは鍛えられない、この大切な力を、あおぞら作文教室で育てたい。このことが、お子様自身の心身の成長を、高く維持する力になる、と確信しています。

いかがでしょうか。これ以外にもいろいろな考えがあるのですが、ちょっと変わった教室かもしれません。でも、間違っていないという確信があります。この信念で、ここまでこの教室は広がってきました。ご理解いただければ幸いです。

あおぞら作文教室 塾長 眞野玲子
講師一同

